

ソーシャルキャピタル概論： その概念・背景と政策への適用可能性

2015年11月26日（木）18:30-20:00

現代市民社会は、市民セクター、政府セクター、ビジネスセクター間の協調的なネットワーク関係により、健全で持続可能な状況、いわゆるグッド・ガバナンスが達成されるとされていますが、そのような状況の基盤としてソーシャル・キャピタル（社会関係資本）があるとされています。このソーシャル・キャピタルの概念・背景、多様な政策領域への適用可能性等について、考えてみたいと思います。

<キーワード> ソーシャル・ガバナンス、 アソシエーション（ソーシャル・エコノミー）、
ソーシャル・キャピタル、 信頼・互酬性の規範・市民的積極参加のネットワーク、
ソーシャル・キャピタルのダークサイド、 文化都市政策

講師： 澤井 安勇 氏

特定非営利活動法人都市工会代表理事、東京大学まちづくり大学院特別講師

1944年東京生まれ。1968年東京大学工学部都市工学科卒業後、自治省入省。船橋市助役、岡山県副知事、大臣官房企画室長、消防庁次長などを経て退官。その後、（財）地域創造常務理事、総合研究開発機構（NIRA）理事等を歴任、現在NPO法人都市工会（としのたくみのかい）代表理事。この間、法政大学大学院政策科学研究科客員教授・講師、帝京大学経済学部観光経営科客員教授、中野区政策研究機構所長などに就任。現在、東京大学まちづくり大学院特別講師、さいたま市本庁舎整備審議会会長、川崎市文化芸術振興会議会長、NPO法人「フォーラム自治研究」顧問等を兼任。また、都市工学科同窓会有志と自主公開講座「都市工塾」を運営。文化都市政策論、都市ガバナンス論などを専攻。工学博士（横浜国立大学）。

編著書等に、『ソーシャル・ガバナンス：新しい分権・市民社会の構図』（共編著、2004年、東洋経済新報社）、『政策研究のメソドロジー（戦略と実践）』（共同執筆、2005、法律文化社）、『価値を創る都市へ』（共同執筆、2008、NTT出版）、「現代公共ガバナンスと自治体シンクタンク」（『計画行政』32(4)、2009：計画行政学会賞受賞）など。



会場: 政策研究大学院大学 4階 F

主催: 政策研究大学院大学 文化政策プログラム

言語: 日本語

定員: 40名(要事前申込み、先着順、無料)

参加をご希望の方は、①氏名、②所属、③メールアドレスを明記の上、

11月20日(金)までに gripsculture-ml@grips.ac.jp までお申込み下さい。

お問合せ先: 政策研究大学院大学 文化政策プログラム

東京都港区六本木7-22-1

TEL: 03-6439-6162 / 6164 【担当: 垣内 恵美子 / 志村 聖子】

E-mail: gripsculture-ml@grips.ac.jp

<http://www.grips.culture.ac.jp>